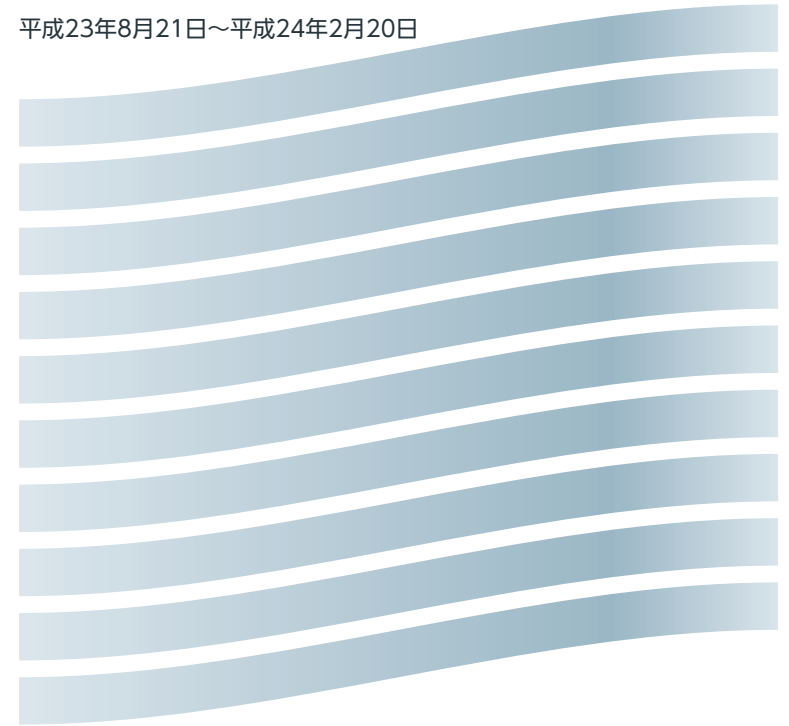




本社・工場

# 第60期 第2四半期決算のご報告

平成23年8月21日～平成24年2月20日



 福島印刷株式会社

〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地  
TEL(076)267-5111(代) FAX(076)267-8065  
URL <http://www.fuku.co.jp/>



福島印刷株式会社

証券コード 7870

# 株主のみなさまへ



ふくしまちお  
代表取締役社長 福島理夫

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、第60期第2四半期累計期間（平成23年8月21日から平成24年2月20日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などにより一部に緩やかな回復の兆しが見られたものの、長期化するデフレや円高に加え、ユーロ圏の債務問題を背景とした海外経済の減速など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

印刷業界におきましても、IT化の進展に伴う紙媒体の減少や、企業の経費削減により市場規模の縮小傾向が続く、業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社はDP（データプリント）サービスを中心とした製品開発やサービスの充実を図り、販促告知や事務通知業務においては、顧客志向による総合的な企画提案型の

販売活動によって需要の創造を継続・推進するとともに、業務の効率化に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は26億97百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益は34百万円（前年同四半期比52.0%減）、経常利益は25百万円（前年同四半期比58.5%減）、四半期純利益は5百万円（前年同四半期比60.1%増）となりました。

今後の見通しにつきましては、国内の景況感力は強さには欠けるものの、日本銀行による物価安定目途の導入などにより、一部に改善の動きが見られます。しかしながらこの景況感は一時的とはいえ、デフレの状況や、欧州の債務問題をはじめとした海外の動向にも先行き不透明感が拭えず、予断を許さない状況が続くものと考えられます。

印刷業界におきましても、印刷需要の低迷や競争激化に、原材料の値上げが加わり、引き続き厳しい経営環境が続くものと考えられます。

このような状況のもと、当社はビジ

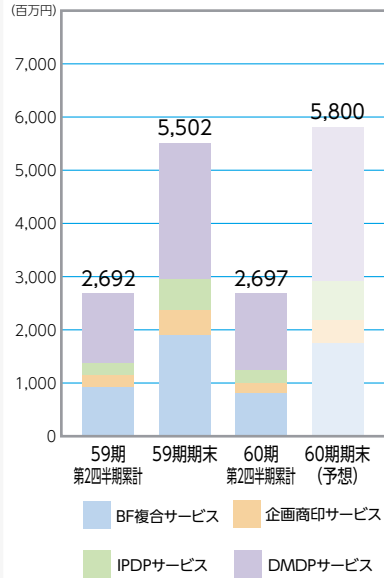
ネスフォーム等印刷物及びDPサービスの製品開発やサービスの充実、また、企画提案型営業の更なる強化と「標準化」による効率化の推進などにより、業績向上に向けて全力で取り組んでまいります。

なお、中間配当金につきましては、平成24年3月29日開催の取締役会において、1株当たり5円と決議しております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 製品分野別売上高

## 製品分野別売上高



### 福島印刷の

### 4分野による複合サービスの実現

当社は情報発信のパートナーとして、「コミュニケーション エイジェント」という新しいビジネスモデルを目指しています。お客様の情報発信は多様で、その手段、ツールにも様々な選択肢があります。そこからお客様視点に立ち多様な可能性を求めて、4つのサービス形態を整備拡張しています。

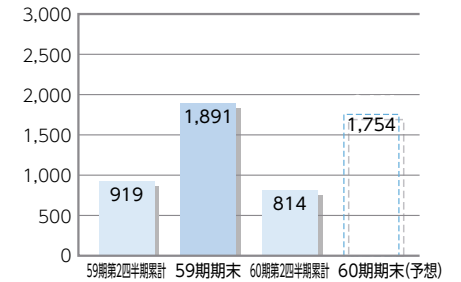
## BF(ビジネスフォーム)複合サービス

- コンピュータ用帳票
- 一般帳票
- シール・ラベル など



BF複合サービスは、内容明細と送り状を一体化した「ピッキング送り状」などの糊加工複合製品が好調に推移したものの、企業のIT化の進展に加え、景気低迷による企業の経費削減傾向により、需要量は大幅に減少しました。売上高は前年同四半期を104百万円(11.4%)下回る8億14百万円となりました。

### 売上高 (単位: 百万円)



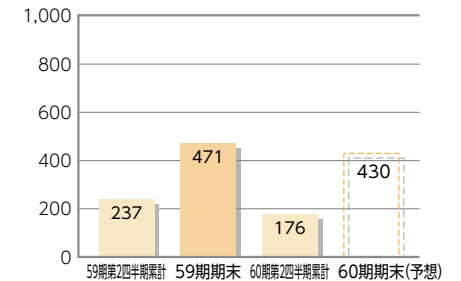
## 企画商印サービス

- 広告宣伝用印刷
- ディスクロージャー関連印刷
- マニュアル印刷 など



企画商印サービスは、企業の広告宣伝費の抑制による受注環境の悪化のなか、当社「ならでは」製品の「圧着くじ」や「棚カード」の販売に注力しましたが、売上高は前年同四半期を61百万円(25.7%)下回る1億76百万円となりました。

### 売上高 (単位: 百万円)



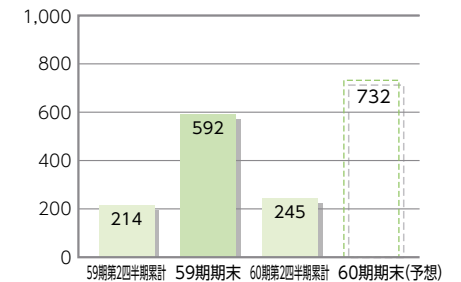
## IPDP (インフォメーションプロセッシング データプリント) サービス

- 事務通信処理受託
- 帳票出力処理 など



IPDPサービスは、ラテックスパックサービスを中心にお客様が全国に拡大し、地方自治体様向けや金融機関様向けの受託サービスと併せて好調に推移しました。売上高は前年同四半期を30百万円(14.3%)上回る2億45百万円となりました。

### 売上高 (単位: 百万円)



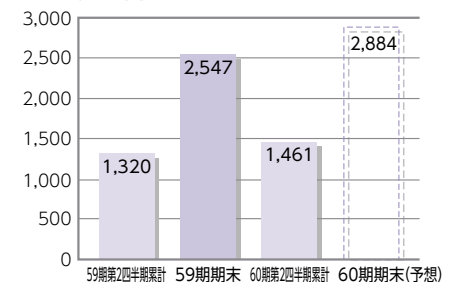
## DMDP (ダイレクトメール データプリント) サービス

- ダイレクトメール
- ダイレクトメール処理受託 など



DMDPサービスは、3種類の糊の使い分けで豊富なバリエーションを持つハガキDMシリーズと、当社の大判DM「UD(ユニバーサルデザイン)メール」の販売が好調に推移しました。売上高は前年同四半期を140百万円(10.6%)上回る14億61百万円となりました。

### 売上高 (単位: 百万円)



# 当社「ならでは」の取り組み

## 情報セキュリティ体制のさらなる強化

### ■ 作業記録カメラの増設

ダイレクトメールなど個人情報を含む商品について、商品が全数発送されたことを確実に保証する必要性が高まっています。そのため、平成22年11月にDM加工室及び区分作業室に設置した作業記録カメラを、平成24年1月に物流発送場にも増設いたしました。



物流発送場全体をカバーできるような場内のレイアウトを検討し、計5台の作業記録カメラを設置しました。

画像データは、DM加工室及び区分作業室の画像と同様、作業記録の補助記録として1ヶ月間保管します。

## 環境保護の取り組み

### ■ 節電と省エネの活動

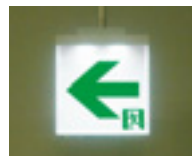
使用エネルギーの合理化を企業の社会的責任の一つと捉え、委員会を設置して各種取り組みを進めています。

今期、電力使用量の見える化システムを導入し、部門別使用量の把握やピーク電力の抑制・分散の検討を開始しました。

さらに使用時間の長い誘導灯や外灯を高効率タイプの照明に入れ替えるなど、節電や省エネに配慮した改善活動も積極的に推進しています。



電力使用量の見える化システム



LED誘導灯

廊下照明間引きの様子

## 当社「ならでは」商品【UD(ユニバーサルデザイン)メール】の進化

UDメールは、ゆうメール・メール便での送付を想定しためくる楽しさ・読む面白さが魅力の冊子型大判ダイレクトメールです。返信はがきやクーポン券なども組み込めるオールインワンツールです。**【特許等出願商品】**

### ■ クロス折UDメール

大量の情報をポスターのような迫力あるレイアウトで見せたい。DMを開封する時のインパクトを高めたい。そんな市場の要望から生まれたのが【クロス折UDメール】です。

#### 【クロス折UDメール】とは？



仕上サイズは、A4サイズ



開いて、A3サイズ



さらに開いて、A2サイズに

- 特長① ワイドな紙面：A2サイズ全面を使ったレイアウト表現が可能
- 特長② 独自の接着技術を開発：糊ではなくオフセット印刷インキによる擬似接着
- 特長③ 糊塗布作業工程が不要：作業効率改善によりコストダウン

### ■ 四方糊UDメール

従来のUDメールは紙面の上下が接着されており、他郵便物が商品の中に混入するリスクが課題として挙げられていました。それを解消すべく、天地にも糊を施した【四方糊UDメール】の開発に取り組みました。しかし製造上の難易度が高く、クリアしなければならない問題がいくつか発生しました。

- 印刷面の濃い部分の転移白濁
- 貼付時の圧着胴の痕跡
- 糊塗布小口の波打ち

上記の問題を、糊の接着メカニズムの理解を進めることで解決していきました。

- 糊の塗布方式を変更しました。
- 凝集力を下げた糊に改良しました。
- 糊の剥離強度調整のため、塗工幅を再検討しました。

平成23年10月より【四方糊UDメール】の販売を開始しています。



様々なサイズを取り揃えております

# 財務諸表

## ■ 四半期貸借対照表

科目	当第2四半期 会計期間末	前事業年度末
【資産の部】		
<b>流動資産</b>	<b>1,952,101</b>	<b>2,001,683</b>
現金及び預金	438,221	480,063
受取手形及び売掛金	1,121,831	1,164,612
製品	106,449	98,035
仕掛品	102,784	92,787
原材料及び貯蔵品	112,734	102,273
繰延税金資産	35,555	48,987
その他	36,543	17,022
貸倒引当金	△ 2,019	△ 2,100
<b>固定資産</b>	<b>4,396,693</b>	<b>4,457,501</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>4,160,664</b>	<b>4,226,434</b>
建物	1,536,108	1,570,511
機械及び装置	652,417	729,159
土地	965,106	965,106
リース資産	795,767	864,893
建設仮勘定	168,895	53,000
その他	42,369	43,763
<b>無形固定資産</b>	<b>85,604</b>	<b>91,299</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>150,424</b>	<b>139,767</b>
<b>資産合計</b>	<b>6,348,794</b>	<b>6,459,185</b>

単位:千円

科目	当第2四半期 会計期間末	前事業年度末
【負債の部】		
<b>流動負債</b>	<b>1,788,781</b>	<b>1,665,127</b>
買掛金	207,281	192,249
短期借入金	905,720	785,720
リース債務	239,152	229,081
未払法人税等	21,212	85,395
その他	415,414	372,680
<b>固定負債</b>	<b>983,347</b>	<b>1,201,195</b>
長期借入金	83,000	240,860
リース債務	696,047	782,092
退職給付引当金	148,444	122,388
その他	55,855	55,855
<b>負債合計</b>	<b>2,772,129</b>	<b>2,866,323</b>
【純資産の部】		
<b>株主資本</b>	<b>3,566,215</b>	<b>3,590,923</b>
資本金	460,000	460,000
資本剰余金	285,200	285,200
利益剰余金	2,821,085	2,845,793
自己株式	△ 69	△ 69
<b>評価・換算差額等</b>	<b>10,449</b>	<b>1,938</b>
その他有価証券評価差額金	10,449	1,938
<b>純資産合計</b>	<b>3,576,665</b>	<b>3,592,862</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>6,348,794</b>	<b>6,459,185</b>

(記載金額は千円未満切捨)

## ■ 四半期損益計算書

(平成23年8月21日から平成24年2月20日まで) 単位:千円

科目	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間
売上高	2,697,396	2,692,184
売上原価	2,041,950	2,000,440
売上総利益	655,446	691,744
販売費及び一般管理費	620,696	619,299
<b>営業利益</b>	<b>34,749</b>	<b>72,445</b>
営業外収益	7,603	5,007
受取利息	69	147
受取配当金	782	778
作業くず売却益	5,007	2,302
その他	1,744	1,778
営業外費用	16,843	15,983
支払利息	16,548	15,949
その他	295	33
<b>経常利益</b>	<b>25,509</b>	<b>61,469</b>
特別利益	2,710	3,124
固定資産受贈益	2,710	-
保険差益	-	3,124
特別損失	4,713	31,193
固定資産除却損	1,046	3,891
事務所移転費用	3,579	-
投資有価証券評価損	86	27,301
<b>税引前四半期純利益</b>	<b>23,506</b>	<b>33,400</b>
法人税、住民税及び事業税	15,600	38,500
法人税等調整額	2,616	△ 8,403
<b>四半期純利益</b>	<b>5,290</b>	<b>3,304</b>

(記載金額は千円未満切捨)

## ■ 四半期キャッシュ・フロー計算書

(平成23年8月21日から平成24年2月20日まで) 単位:千円

科目	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	268,952	173,306
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 79,195	57,437
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 184,598	△ 318,664
現金及び現金同等物の増減額	5,157	△ 87,920
現金及び現金同等物の期首残高	372,563	507,540
現金及び現金同等物の 四半期末残高	377,721	419,619

(記載金額は千円未満切捨)



(前列左より) 館、福島、下畠、戸田  
(後列左より) 松谷、市村、古林、岩木、山崎

## 役員 (平成24年4月27日現在)

代表取締役社長	ふくしまちお 福島理夫	取締役	まつたに 松谷裕之
専務取締役	しもはた 下畠	常勤監査役	まつたに 松谷孝之
常務取締役	たちよし 館芳	監査役	たかひろ 古林弘
取締役	とだりょういち 戸田綾一	監査役	いわき 岩木修
取締役	むらよしひろ 市村嘉宏		

## 会社の概要

商号	福島印刷株式会社
英文名	FUKUSHIMA PRINTING CO.,LTD.
本店所在地	〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地 TEL (076) 267-5111 (代)
設立	昭和27年9月10日
資本金	4億6,000万円
従業員数	374名
事業所	本社及び工場 金沢市佐奇森町ル6番地 東京営業部 東京都中央区日本橋本町4丁目5番14号 入江ビル6F 富山営業所 富山市上袋708番1 福井営業所 福井市問屋町3丁目811番地 大阪営業所 大阪府中央区平野町3丁目3番8号 辻梅ビル3F 名古屋営業所 名古屋市中区金山1丁目2番2号 クマダ第2ビル5F

## 株式についてのご案内

事業年度	8月21日から翌年8月20日まで
定時株主総会	11月
基準日	定時株主総会 8月20日 期末配当 8月20日 中間配当 2月20日 その他必要があるときは、予め公告して定めた日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

### ●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ●未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

単元株式数	100株
上場証券取引所	名古屋証券取引所
公告方法	電子公告により当社ホームページ ( <a href="http://www.fuku.co.jp/">http://www.fuku.co.jp/</a> ) に掲載いたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法とします。

株主優待制度	8月20日基準日現在1,000株以上の株主を対象に、自社指定の株主優待を、ご希望に応じてお選びいただけます。
--------	--

### 平成23年優待品



金沢五郎島金時



「四十萬谷本舗」  
かぶら寿し



能登牛カレー&  
シチューセット



ふぶの粕漬け  
詰め合わせ



ざぶん賞へ寄せ